

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: R3年3月10日

事業所名 一般社団法人ハンズハンズ 未来育デイ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	・コロナ禍でソーシャルディスタンスを考慮するとせまくなる。(満員の場合) ・コロナの状況で厳しい時もあるのではないかなと思う。 ・ザワザワしている日は部屋を分けて落ち着いた環境を作ることができている。	法令基準は満たしているが、コロナ禍でできるだけ密を避けるため、机の配置を変えたり、衝立をたてたり、部屋を分けたりして対策している。今後も、より安全に快適に過ごせるよう考えていきたい。
	2 職員の配置数は適切である	3	2	・その日の利用者によって不足していると感じることがある。 ・指導訓練室を広げているが支援にあたる職員が少ないと感じる場合がある。	法令基準は満たしているが、障がいの程度や特性により、支援が行き届かないと感じることもある。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	・トイレが改装され、利用者・支援側共に使用しやすくなった。 ・2Fトイレが改装され、利用しやすくなった。 ・建物の構造上、階段等危険なところがあるがトイレがキレイになった。	今年度、岐阜県愛のともしき基金より助成を受け、トイレの改装を行った。今後もできることから、みんなが使いやすい施設づくりを目指していきたい。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	・子ども達の連絡帳を確認し、出勤していない時の様子や情報の共有など心掛けている。 ・何人もの職員の視点で振り返りをし、反省を踏まえて次回の活動を考えることができている。	職員会や、普段の雑談等の中で子どもの姿を共有し、さまざまな視点での意見を交流した上で、目標設定や活動の計画等を行っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・顔を合わせた保護者の方にはなるべく声を掛け、様子を共有しあくことで改善につなげることがあれば確認していくようにしている。	アンケートでいただいた意見をもとに、すぐに改善できるところ、じっくり考えていくところを分け、より良い事業所づくりを目指している。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		毎年ホームページにて公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		外部評価は受けていないが、関係機関と連携をとり支援にあたっている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2	・自身の出勤のシフト上、参加が難しいことがあるが書類には目を通し、自分なりに理解できないところがあれば聞くようにしている。 ・今年度はできなかった。職員会で2回ほど研修を行った。	コロナ禍でなかなか研修に参加する機会を積極的に設けることができなかったが、動画研修に参加したり、職員会で研修を行ったりしている。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		契約時に現在のお子様の子の聞き取りをしたり、アセスメントシートに記入をさせていただいたりして、ニーズの把握に努めている。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2		モニタリングの際に、保護者の方から診断書や他事業所での評価表などを見せていただくことがある。アセスメントツールは独自のものを使用しているため、標準化されたものと照らし合わせを行っていききたい。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	・毎回ではないですが、こんなことをやってみようなど意見する場がある。	プログラムは内容によってより専門性の高い職員が立案したり、職員会や普段の雑談等で意見を聞いて取り入れたりしている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・体育、園工、音楽、SST etc. バランスよく組み込まれていて、子どもたちが興味を持って取り組んでいる。	子どもの興味や課題にあわせ、静と動を意識したプログラムを考えている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0		長期休暇前には、一人ひとりの目標設定を行っている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		子どもと保護者のニーズを具体的に把握し、個別活動、小集団活動どちらの時間も大切に計画を立てることができている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・活動計画を参考におおよその支援の見通しをもって臨んでいる。	現在は送迎等の都合で全員が揃って打ち合わせの時間を設けることはしていないが、その日の支援内容を文書にて共有したり、送迎に出していない職員同士で確認あって支援にあたっている。
	16 支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している	4	1	・送迎や終業時刻の都合で徹底が難しい。 ・送迎等を出ていて参加ができない職員もいるが、その日の子ども達の様子について振り返ることができている。 ・後片付けと聡時で終わる場合が多く、その日の職員が終了後揃わないこともあるので不十分。活動の中で様子を見て治すところを見つけ出ししていくことが大切だと思う。	送迎等の都合で全員揃って行うことは難しい。気づいた点は職員同士でその日のうちに話し合い、送迎に出ている職員にも伝え、共有することができている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・記録用紙への記入が徹底されている。	日々の活動や支援について記録することができている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0		半年に一度、モニタリングを行い計画の見直しをしている。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0		ガイドラインを定期的に確認し、さまざまな種類の活動を取り入れるようにしている。	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		子どもとよく関わって理解している職員が参画している。	
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	・送迎の際に子どもの様子を共有したり、下校時刻の確認をとったりしている。	下校時刻表をいただいたり、送迎時に学校での子どもの様子について伺ったり、何かあった際には電話連絡をするなど適切に連携をとることができている。	
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1	・現在は医療的ケアを要する子の受け入れをしていない。	現在は看護師が在籍しておらず、できる支援に限られてしまう。必要に応じて保護者や主治医等との連絡体制を整えていきたい。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	・就学前の利用先とはなかなか連携がとれていないが、日中一時支援を利用していた子は日中の職員と連携をとって支援している。	契約時に就学前の施設での情報をいただくことがあったり、日中一時を利用している子が就学し、放デイ利用になることも多いので日中の支援員と情報を共有し、支援にあたっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0		求められた際に行っている。当法人内で、放デイ卒業後、就Bに移行する方もおり、就Bの支援員と情報共有を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	・今年度はできていない。	必要に応じて連携をとっているが、今年度はなかなか研修の機会がなかった。来年度機会があれば積極的に参加したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	・おたのしみ会のきょうだい児との交流は互いに良い刺激になっていたように思う。 ・コロナウイルスの影響により、難しい状況だった。 ・きょうだい児にも行事に参加してもらおう場を設けた。 ・今年度はコロナ禍のためできなかった。	現状、地域の子どもと活動する機会を設けることが難しいが、きょうだい児のかかわる機会は定期的に設けていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2	・参加したことはないが、機会があれば参加したい。 ・積極的な参加はできていない。	積極的な参加はできていないが、機会があれば参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・年末のおたのしみ会では、保護者を招待して行ったので、自分の子どもの様子を知る良い機会となったと思う。	連絡ノートを活用したり、送迎時や面談時に様子を伝えたり、必要に応じて電話やメールでの連絡を行ったりしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	5	0	・トレーニングに関与する機会はありませんが、少しでも保護者の方に寄り添えるよう、自身のできる範囲で伝えていけることはしていきたいと思う。	必要に応じて行う。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	2		契約時に運営規定及び重要事項説明書を読み上げたり、利用者負担等について説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	・同じ子を持つ母親として、思うこと、感じることは伝えていきたいと思っている。	モニタリングの際に時間を長くって話す機会を設けている。送迎時や連絡ノート、電話やメール等でも適宜行うようにしている。
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	・なかなかそういう機会はないかもしれませんが、あると保護者の方同士で悩みなど共有したり、学びの場にもなるのかなとも思います。希望される方のみでもいいので、あるといいかなと思う。 ・今年度はコロナ禍のためできなかった。	昨年一度保護者会を行ったが、参加率が低かった。情勢を見ながら、来年度は保護者が参加しやすい日程を考慮し、保護者会を行ってきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		苦情対応について、契約時に説明をしたり、ハンズハンズ入り口に掲示したりしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0		毎月の通信や利用予定表にて、行事予定や連絡事項を載せている。活動内容についてはYoutubeチャンネルを開設し、動画にてより具体的な子どもの様子を見ていただけるようにしている。
	35	個人情報に十分注意している	5	0		契約時に個人情報の取り扱いについて説明を行い、承諾書の記入をお願いしている。個人情報ファイルやデータは鍵付きキャビネットへ保管、PCもパスワードにて厳重に管理している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		一人ひとりの特性に応じ、言葉だけでなく視覚的な支援や手話、サイン等を用いて意思確認を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	・行事はなくても、畑で採れたものを販売する、メディア(Youtube)で様子を見ていただくなど、ツールはたくさんあるに越したことはないと思う。 ・コロナウイルスの影響により難しい状況だった。 ・今年度はコロナ禍のためできなかった。 ・今年度からYoutubeでの情報発信を行っている。	Youtubeチャンネルにて地域に開かれた事業運営をめざし、動画配信を行っている。今年度は「あくしゅの会」開催ができなかったため、来年度は行いたい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	・マニュアルはあるが周知できていない。	各種マニュアルの作成はされているが、周知にまで至っていない。職員会議等で周知を行い、保護者にも保護者会等で周知されるよう努めていきたい。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	・月に一度、防災の日を設け、訓練や防災に関する学習の機会としている。 ・防災の日を設けているため、かなり定着してきている。	毎月「防災の日」を設け、さまざまな自然災害を想定した避難訓練や、災害や対策について学びを深める時間を設けている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	・研修があれば参加したい。提供される場だけでなく、自身でもニュースや本などで情報を得たり、冷静でいられるようにしていきたい。	月に一度、虐待防止チェックを行っている。職員全員がすぐに見られる場所に研修資料を置き、定期的に目を通し、職員全体で虐待防止への意識を高められるよう努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		現在対象者がいないが、必要であれば行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0		アセスメントシートに対象のものや、アレルギー反応が出た場合の対応など具体的な記入をお願いしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	・事例集もあった方がいいが、職員同士の交流の場で常に色んなことを共有していけるような場はいくつもあるので、そういった場を活用して共有していきたい。 ・事例集は分らないが、いろいろあったことについては交流して対策を考えている。	職員会議等で周知、全員が把握できるようにしていきたい。